

託送料金値上げに伴う料金改定について

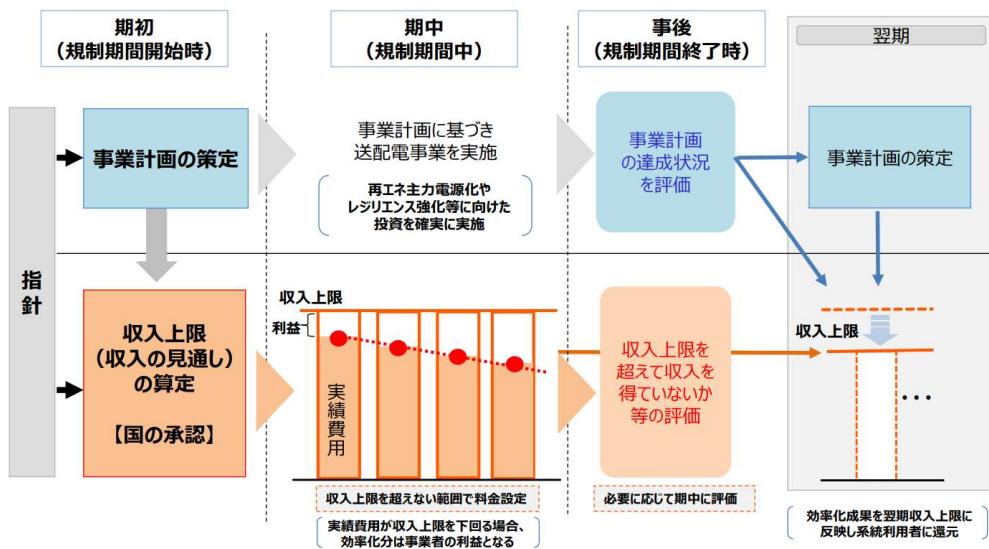
2023年4月より各地域の一般送配電事業者が新たな託送料金制度を導入することにより、託送料金※が値上げされます。これに伴い弊社の電気料金につきましても、託送料金の値上げ相当分の料金改定をさせて頂きますので、下記の通りお知らせいたします。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※電力供給に係る送配電設備を利用する際の費用

【レベニューキャップ制度概要】

- 一般送配電事業者における必要な投資の確保とコスト効率化を両立させ、再エネ主力電源化やレジリエンス強化等を図ることを目的として設定されております。
- 一般送配電事業者が一定期間ごとに収入上限について国より承認を受け、その範囲で柔軟に料金を設定できる制度です。



出典:電力・ガス取引監視等委員会「託送料金制度（レベニューキャップ制度）中間とりまとめ」

レベニューキャップ制度について詳細は下記 URL をご確認ください。

https://www.emsc.meti.go.jp/activity/emsc_electricity/pdf/report_20211124b.pdf

【値上げ単価】

先日、各地域の一般送配電事業者が経済産業大臣に認可申請(2022年12月)した託送料金単価、およびイーセル料金単価の増加額（予定）は以下の通りとなります。

※今後認可される託送料金とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

2023年3月頃に改めて弊社のホームページにてお知らせする予定でございます。

〈高圧〉

	託送料金単価				イーセル料金単価の増加額	
	値上げ前※税込み		値上げ後※税込み		(予定)	
エリア	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金
東京	555.50円	2.37円	653.87円	2.37円	98.37円	0.00円
中部	396.00円	2.53円	467.50円	2.74円	71.50円	0.21円
北陸	594.00円	2.21円	748.00円	2.40円	154.00円	0.19円
関西	517.00円	2.65円	663.30円	2.86円	146.30円	0.21円
中国	517.00円	2.59円	658.90円	2.86円	141.90円	0.27円
四国	594.00円	2.56円	712.80円	2.73円	118.80円	0.17円
九州	456.50円	2.71円	553.28円	3.09円	96.78円	0.38円

〈特別高圧〉

	託送料金単価				イーセル料金単価の増加額	
	値上げ前※税込み		値上げ後※税込み		(予定)	
エリア	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金
東京	379.50円	1.33円	423.39円	1.33円	43.89円	0.00円
中部	313.50円	1.28円	357.50円	1.30円	44.00円	0.02円
北陸	434.50円	1.18円	572.00円	1.29円	137.50円	0.11円
関西	407.00円	1.26円	440.00円	1.24円	33.00円	-0.02円
中国	341.00円	0.93円	383.90円	1.02円	42.90円	0.07円
四国	522.50円	1.15円	553.30円	1.17円	30.80円	0.02円
九州	434.50円	1.49円	482.05円	1.64円	47.55円	0.07円

【託送料金変更後の電気料金単価例】

下記条件に当てはまるお客様の場合の、託送料金変更後電気料金単価例になります。

エリア：中部

契約：高圧標準メニュー

料金	変更前	変更後
基本料金	1,200円/kW	1,271.5円/kW(+71.5円)

従量料金	15 円/kWh	15.21 円/kWh(+0.21 円)
------	----------	----------------------

※現時点における申請中の単価での試算となります。今後認可される託送料金単価とは異なる場合がございます。

以上